

事務事業チェックシート

事務事業No 36 事業名 外部監査事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		一般管理費	
	大事業		行政経営課事業	
事項		外部監査事業		

[長期総合計画]

分野別目標	6	その他
政策	2	効率的な行政運営の推進
施策	2	事務事業の効率化
基本方針		

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令	地方自治法第252条の36		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	行政経営課	佐竹 美登里 (435-1151)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
				○
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）		事業内容					
事業概要	市の組織に属さない外部の専門的知識を有する者による監査を導入することで、市の監査機能の独立性・専門性が一層充実されている。		地方自治法第252条の36第1項で都道府県及び政令で定める市（政令指定都市及び中核市）において平成11年4月から義務付けられている。 外部監査人が自らの判断で特定の事件を選択し監査を行う。 外部監査の結果報告に基づき指摘された事項についての措置状況調査を実施し、改善した事項、市の方針が決定された事項も含め措置状況を監査委員に報告し、監査委員から公表する。				
	実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
テーマ 「生涯学習部の財務事務について(施設運営管理を含む)」		テーマ 「財務に関する業務リスクの管理体制の整備について」	テーマ 「環境関連事業（ごみ処理事業及び下水道事業）について」	テーマ 雇用関連施策に関する財務事務並びに公益財団法人和歌山市中小企業勤労者福祉サービスセンター及び公益社団法人和歌山市シルバー人材センターの出納その他事務について			
事業費							
人件費							
所要人数							

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	10,444	10,441	10,888	10,768	10,888	10,891	10,891	10,891	10,891	10,891
伸び率 (%)	-	-	4.3%		0.0%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	3,705	3,134	3,134	2,951	2,951	3,093	3,093	3,093	3,093
	非常勤職員	2,009	2,007	2,007	5,010	5,010	4,803	4,803	4,803	4,803
	小計	5,714	5,141	5,141	7,961	7,961	7,896	7,896	7,896	7,896
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	10,444	10,441	10,888	10,768	10,888	10,891	10,891	10,891	10,891	10,891
所要人数	常勤職員	0.50	0.41	0.41	0.40	0.40	0.41	0.41	0.41	0.41
	非常勤職員	0.95	0.95	0.95	0.96	0.96	0.96	0.96	0.96	0.96
主な予算内訳	外部監査委託料 10,736千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
活動指標	打合せ（担当課へのヒアリング、現地視察等）回数					年度目標値	20	20	20	20	
						実績値	19	17	12		
	単位	日	全体目標値	20	全体目標達成度	60.0%	年度別達成度	95.0%	85.0%	60.0%	
							年度目標値				
成果指標	意見・指摘に対する措置率（平成11年度からの当該年度の前年度までの累計率）					年度目標値	100	100	100	100	
						実績値	100	92	100		
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	92.0%	100.0%	
							年度目標値				
								年度目標値			
								実績値			
								年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	○			
	縮小	/			
	廃止	/			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>地方自治法第252条の36第1項で都道府県及び政令で定める市（政令指定都市及び中核市）において平成11年4月から義務付けられており、地方公共団体の組織に属さない外部の専門的知識を有するものによる監査を導入することで、地方公共団体の監査機能の独立性・専門性が一層充実されるため。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>外部監査人の「意見」に対しては、必ずしも措置等を要するものではないが、包括外部監査人は公認会計士としての専門的知識が、市の監査に有用であるとの考えで選任されていることから、市民に十分な説明責任が果たせるよう、担当部局に対しては「結果(指摘)」だけでなく、「意見」に対しても尊重した対応を行うよう通知している。</p>